

GUEST1000_2

3801: 金蛇^{かなへび}が龍^{りゅう}に見えたなど、針小棒大^{しんしょうぼうだい}もいいところです。

3802: 去年^{きょねん}のウィニングランの思い出^{おもいで}を、一晩中^{ひとばんじゅう}聞かされました。

3803: クアルテットの演奏会^{えんそうかい}を控えて、彼^{ひか}と喧嘩^{けんか}しました。

3804: イェーガーさんの法螺吹き^{ほらふき}の甚^{はなは}だしさは、何^{なん}とかならないのですか？

3805: ニエンさんが腸捻転^{ちょうねんてん}になって、入院^{にゅういん}してしまったのです。

3806: ツァーリの即位式^{そくいしき}が、厳^{おごそ}かに行^{おこな}われています。

3807: くぅー痺^{しび}れる、こんなに恋焦^{こいこ}がれる気持^{きも}ちは、初^{はじ}めてなんです。

3808: ハンガリーのギェネシュディアーシュで作^{つく}られた、尊^{とうと}い掛^かけ軸^{じく}です。

3809: この成果^{せいこ}は、ジュヌヴィエーヴ様^{さま}のご協^{きょう}力^{りよく}に因^よるものです。

3810: ドゥーイットユアセルフこそが、峠^{とうげ}越^こえに重^{じゅう}要^{よう}なのです。

3811: グラム土産^{みやげ}のコーヒーを淹^いれてあげたのに、不^ふ満^{まん}だと言^いうんです。

3812: ペーターソンさんなら、キトゥリちゃんと一^{いっ}緒^{しょ}に外^{がい}出^{しゅつ}しました。

3813: なんてえなんてえ、挫^{くじ}けてる場合^{ばあい}じゃない、目^め指^ざすは世^せ界^{かい}制^{せい}覇^はです。

3814: 帆^ほに豆^{とう}苗^{みょう}を描^{えが}いた帆^{はん}船^{せん}が、大^{おお}海^{うみ}原^{はら}を進^{すす}みます。

3815: 足^{あし}を怪^け我^がしたピョートルは、テョテョテョと変^{へん}な声^{こえ}を上^あげていました。

3816: てゃーと気^き合^{あい}を入^いれて、牙^{きば}を剥^むいたライオンに飛^とび掛^かかりました。

3817: この襖^{ふすま}絵^えは、有^{ゆう}名^{めい}な書^{しょ}家^かの作^{さく}で、八^{はっ}百^{ひゃく}万^{まん}円^{えん}もします。

3818: ジョヴォヴィッチの突^{とつ}然^{ぜん}の告^{こく}白^{はく}に、マーシィが困^{こん}惑^{わく}しています。

3819: ピノキオはベビーベッドを揺^ゆすぶり、子^こ守^{もり}歌^{うた}を歌^{うた}います。

3820: ハチャトウリアンは、クォークの教^{きょう}科^{かしよ}書^{しよ}を、デ^うスクの^え上^のに載^のせました。

- 3821: そのバンドのローディは、一 升 瓶^{いっしょうびん かつ}を担いでスキップしました。
- 3822: 愛媛^{えひめ}では、半魚人^{はんぎょじん}の発掘作業^{はつくつさぎょう}が、佳境^{かきょう}に入りました。
- 3823: グエンさんと背比^{せいくら}べなんて、あたくしが負けるに決ま^まっています。
- 3824: 有名なツエルニーの練習曲^{れんしゅうきょく}で、ピアノの稽古^{けいこ}をします。
- 3825: 可愛いにゃんこの柄^{がら}の着物^{きもの}を身^みに着^つけて、お出掛^{でか}けします。
- 3826: 源汰^{げんた}は、ヴォルケーノが熱い溶岩^{あつ ようがん}を噴^ふくのを見ていました。
- 3827: ロンセスバーリエスの親戚^{しんせき}がくれた、缶詰^{かんづめ}を食^たべますか？
- 3828: おいらみたいな不細工^{ぶさいく}、誰^{だれ}も顧^{かえり}みてくれないのは分かっています。
- 3829: ベートーヴェンを聴^ききながら、逮捕術^{たいほじゆつ}を学^{まな}ぶと効果的^{こうかてき}です。
- 3830: ゾンビの写真^{しゃしん}を撮^とるのは、ちょっとばかり骨^{ほね}が折^おれるのです。
- 3831: あの岸壁^{がんぺき}の向こうに、七十羽程^{む ななじゅうわほど}の白鳥^{はくちょう}が見え^みます。
- 3832: 食卓^{しょくたく}には、美味しいリングィネの準備^{じゅんび}が整^{ととの}っております。
- 3833: グレイトなティーチャーになるのが、フォンの嘗^{かつ}ての夢^{ゆめ}だったのです。
- 3834: 菜^なの花^{はな}の咲^さく丘^{おか}の上^{うえ}で、小父^{おじ}さんとミュージカルを観^みました。
- 3835: ミスターテューダーが、祖父母^{そふぼ}の弔問^{ちようもん}に訪^{おとず}れてくれました。
- 3836: 社内報^{しゃないほう}に金剛力士像^{こんごうりきしぞう}が載^のっていて、ときめきました。
- 3837: 煎茶^{せんちゃ}を零度^{れいど}の氷水^{こおりみず}で抽出^{ちゅうしゅつ}すると、とても美味^{おい}しいです。
- 3838: イフェレーミェンコは、女王^{じょおう}の戴冠式^{たいかんしき}の準備^{じゅんび}に掛^かかりました。
- 3839: 弊社^{へいしゃ}でプチトマトのケーキを開発^{かいはつ}した理由^{りゆう}を述べ^のます。
- 3840: 夕暮^{ゆうぐ}れの丘陵^{きゅうりょう}は、ヴァーミリオンに輝^{かがや}き燃^もえるようでした。
- 3841: たった五^{いつ}つの子^こがトウシューズを履^はくのは、早過^{はやす}ぎると思^{おも}います。

- 3842: ひろさき みさお なかよ
弘 前では、 操 はスィーリアちゃんと、とっても仲良しでした。
- 3843: ふしぎ ちから あやつ
スチュワートは、不思議なオーヴの 力 で、ドラゴンを 操 ります。
- 3844: ゆうきさいばい しにょう つか たいひか ひつよう
有機栽培に尿尿を使うなら、堆肥化する 必要 があります。
- 3845: ぶんかさい ひろ こうてい おど
文化祭のラスト、広い校庭で、フォークダンスを踊ります。
- 3846: ふくろいっばい いも つく はんばい
袋 一杯のジャガ芋でコロッケを作り、販売します。
- 3847: じけん お たんてい むちゅう
ヴィクトリアは、事件が起こると探偵ごっこに夢中になります。
- 3848: かし じょじょうてき き なみだ こぼ
ジェンセンの歌詞は抒情的で、聴くたび 涙 が零れます。
- 3849: ひょうどう ごかいしょ あししげ かよ
兵 藤さんは、碁会所に足繁く通うようになりました。
- 3850: たまこ も つ なが
珠子は、ウェイトレスが盛り付けた、ガパオライスを眺めました。
- 3851: あきうおんせん ちめい ゆらい ちゅうもく
秋保温泉の地名の由来が、注 目 されています。
- 3852: かんしつぶつ みつ なみだ こら
デュパンは乾漆仏を見詰めて、ぐっと 涙 を堪えました。
- 3853: びやくえかんのん おが なや うんさんむしょう
白衣観音を拝んだら、悩みも雲散霧消しました。
- 3854: にいさま こうてい ざ ぜったい ゆず
兄様にとって、皇帝の座は絶対に譲れないものです。
- 3855: お ば だいがくじゅけん べんきょう はじ
フィリピンの伯母が、大学受験の勉強を始めました。
- 3856: とうにゅう そそ き
ジュリアが、豆乳を注ぎながらハミングするのが聞こえます。
- 3857: ふゆ さむ びょういん なか あたた
シベリアの冬は寒いけれど、病院の中は暖かいです。
- 3858: お じ うんてんめんきょ へんのう い だ
叔父のジョゼフが、運転免許を返納すると言い出しました。
- 3859: にせさつづく きょうりよくで き わけ
ひえー、偽札作りなんて、協力出来る訳がありません。
- 3860: お づる く に おお ひと つく
折り鶴はこの国ではポピュラーで、多くの人が作れます。
- 3861: うえき みず じょうろ もち あ まえ
植木の水やりに如雨露を用いるのは、当たり前のことです。
- 3862: たくさん わこうど た ある
沢山の若人が、マリトッツォを食べ歩いています。

3863: ライプツィヒ^{しゅっしん}出身のムッシュハイน์リヒは、朗^{ほが}らかな方^{かた}です。

3864: ウォーリーが、ピニャコラーダを一つ^{ひと}注文^{ちゅうもん}して、飲^のんでいました。

3865: 貴女^{あなた}のぎこちない笑顔^{えがお}が、僕^{ぼく}の心^{こころ}を照^てらしてくれます。

3866: 咸臨丸^{かんりんまる}で、ハンガリーのズィチウーイファルに行きたいのです。

3867: ハートのクィーンは、裁判^{さいばん}の行方^{ゆくえ}を愁^{うれ}える日が続^ひきます。

3868: リャンメン待ちだったのに、貧血^{ひんけつ}で倒^{たお}れてしまったのです。

3869: チェストにたっぷり積^つもっていた埃^{ほこり}を浴^あびせられたのです。

3870: お腹^{なか}がぐうと鳴^なって、堪^{たま}らず卓袱台^{ちゃぶだい}の箸^{はし}を掴^{つか}みました。

3871: フェーン現象^{げんしょう}による猛暑^{もうしょ}で、汗^{あせ}が滝^{たき}のように流^{なが}れます。

3872: びええんびええんと泣^なく子供^{こども}らのため、歩合制^{ぶあいせい}で頑張^{がんば}ります。

3873: 初めて百^{はじ}十^{ひゃく}番^{とうばん}をしたのは、ジェイドが九^{ここの}つ^{とき}の時^{とき}でした。

3874: デャンフレスは、五人^{ごにん}の甥^{おい}っ子^こと姪^{めい}っ子^こを養^{やしな}っています。

3875: 懐^{ふところ}に胡瓜^{きゅうり}を忍^{しの}ばせて、河童探^{かつばさが}しに出掛^{でか}けます。

3876: 喘息^{ぜんそく}を堪^{こら}えながら、漸近線^{ぜんきんせん}を求^{もと}めていました。

3877: デヨン君^{くん}は、ウィリアムスンの事^{こと}を見限^{みかぎ}ったのだと思^{おも}います。

3878: システムの冗長化^{じょうちょうか}のた^{ため}めに、逸見君^{へんみくん}は頑張^{がんば}っています。

3879: 可愛^{かわい}がっていた鸚哥^{いんこ}が逃^にげ、ショスタコーヴィチは悲^{かな}しみました。

3880: 岡部^{おかべ}さんは、仙台市太白区^{せんだいしたいはくく}にマンション^たを建^たてました。

3881: ジョンがバックトゥザフューチャー^{この}を好^{たし}むのか、確^{たし}かめたいです。

3882: ジェニーには、中州^{なかす}のドラッグストア^かで買^かったビューラー^かをあげます。

3883: キューツと柄^{がら}にもなく叫^{さけ}んで、長宗我部君^{ちようそかべくん}が暴^{あば}れています。

3884: 幾子^{いくこ}ちゃんが、ファックスで可愛^{かわい}いイラストを送^{おく}ってくれました。

3885: 飢饉^{ききん}を無^なくす、グローバルなキャンペーンが^{おこな}行^{おこな}われています。

3886: この不始末^{ふしまつ}は、後^{のち}の世^よにまで脈^{みやく}々^{みやく}と語^{かた}り継^つがれるでしょう。

3887: デュークは陛下^{へいか}の前^{まえ}に^{ひざまず}跪^{ひざまず}き、祈^{いの}りを捧^{ささ}げました。

3888: こんな妥協^{だきよう}で迎^{むか}えたフィニッシュでは、満^{まん}足^{ぞく}できません。

3889: ヒューイットの事^{こと}が忘^{わす}れられないと、シャルルは嘆^{なげ}きました。

3890: 昨日^{きのう}シュゼットと会^あったのですが、大分^{だいぶん}疲^{つか}れていたようでした。

3891: ゾラは厭世^{えんせい}的な気持^{きも}ちで、独^{ひと}りシェリー酒^{しゅの}を飲^のみました。

3892: クェックエツと鳴^なく海鳥^{うみどり}の声^{こえ}を聞^きくと、船酔^{ふなよ}いが酷^{ひど}くなりました。

3893: 子猫^{こねこ}をお風呂^{ふろ}に入^いれたら、ぴえーぴえーと鳴^ないて嫌^{いや}がりました。

3894: 湯たんぽ^ゆは便利^{べんり}ですが、低^{てい}温^{おん}火傷^{やけど}は回^{かい}避^ひしましょう。

3895: ルックスとギャップ^いがあると言^いわれますが、実^{じつ}は尽^つくすタイプです。

3896: パパがあ^{おとこ}の男^{しん}を心^{しん}底^{そこ}憎^{にく}んでいたこと、知^しっていますか？

3897: グォンさんの眩^{まばゆ}い美^{うつく}しさ、最^も早^{はや}罪^{つみ}だと思^{おも}いませんか？

3898: 亮^{りょう}が、執^{しつ}筆^{ひつ}中^{ちゆう}の戯^ぎ曲^{きよく}の梗^{かう}概^{がい}を話^{はな}してくれました。

3899: ルディが白^{はく}衣^いに牛^{ぎゅう}乳^{にゅう}を零^{こぼ}して、ぎゃあぎゃあ叫^{さけ}んでいました。

3900: 土手^{どて}に独^{ひと}りで座^{すわ}っている子^こ、ひょっとしてピョンピョンちゃんですか？

3901: ドーウェル君^{くん}は、ピンクの表^{ひょう}紙^しの手^て帳^{ちよう}を、大^{たい}切^{せつ}にしている。

3902: てやんでえ、弁^{べん}償^{しょう}なんかや^やってられ^{られ}っか、と祖^そ父^ふは啖^{たん}呵^かを切^きった。

3903: あれがドゥカーレ宮^{きゅうでん}殿^{でん}である事^{こと}は、一^{いち}目^も瞭^{くり}然^{ょう}だ。

3904: グォノさんの才^{さい}能^{のう}が埋^うもれてしまうのは、勿^も体^{たい}無^ない事^{こと}だ。

3905: わがはい しゅじんさま だいがく きょうべん と
吾輩のご主人様は、大学で教鞭を執っているのだ。

3906: さいとう ぎり おとうと い りゅう
齋藤さんの義理の弟が、クウェートに居る劉さんだ。

3907: かじやまけ きょうだいそろ だい にがて
梶山家は兄弟揃って、コンピューターが大の苦手だ。

3908: ウォルトの、ホロスコープをつか うらな だいひょうばん
を使った占いは、大評判だ。

3909: ねんしゅうきゅうひゃくまんえんきぼう ほんとう
リシュリユーが、年収九百万円希望って本当か？

3910: えみ いち ゆうとうせい ぶんぼうぐ す
恵美はクラス一の優等生で、ファンシィな文房具が好きだ。

3911: りんか きやくじん しちがはままち き
隣家の客人は、七ヶ浜町からやって来たようだ。

3912: けいしゃ に だ にわとり じゅうか まわ
鶏舎から逃げ出した鶏が、そこら中駆け回っている。

3913: べんぎてき まつだいら はい
ソニーには、便宜的に、松平のグループに入ってもらおう。

3914: こうていえき りゅうこう ぜったい く と
口蹄疫の流行を、絶対に食い止めねばならない。

3915: そのフューエルタンクには、よ ば えが
四つ葉のクローバーが描かれていた。

3916: しょうこ たみぞう ね で はず
これだけ証拠があれば、もう民造には、ぐうの音も出ない筈だ。

3917: くおんし のぼ よ おも で
久遠氏と、ヒメルビェアウエズに登ったのは、良い思い出だ。

3918: がくねん ししゅ た
学年トップを死守したら、このジュースィーなメロンが食べられる。

3919: むずか はるか た いき つ
ラフマニノフのカデンツァは難しいと、春香は溜め息を吐く。

3920: す ひと きょひ せつ い
好きな人に拒否されるのは切ないものだと、ジョナサンは言った。

3921: とびら ひら ちょう なら
クローゼットの扉を開くと、蝶ネクタイが並んでいた。

3922: す とき こと おれ すべ はな ほ
ヴァルヴェルデに住んでいた時の事、俺に全て話して欲しい。

3923: いがらし たいへんふっき じんぶつ
クォーターバックの五十嵐さんは、大変富貴な人物だ。

3924: くどく い なみたいてい もの
グインさんの功德と言ったら、そりゃ並大抵の物ではない。

3925: そら う ゆうひ あ あか そ
空に浮かぶツェツペリンが、夕日を浴びて赤く染まっていた。

- 3926: 裕^{ゆたか}の経営^{けいえい}する病院^{びょういん}に、運転資金^{うんてんしきん}を貸^かした。
- 3927: インタビューで博士^{はかせ}は、氏^{うじ}より育^{そだ}ちという諺^{ことわざ}に触^ふれた。
- 3928: 流^{りゅう}行^{こう}に疎^{うと}くて、トレンドドラマだっ^みて観^{ためし}た例^なが無い。
- 3929: 銃^{じゅう}後^ごの守^{まも}りは任^{まか}せたぜと言^いって、和也^{かずや}は飛^とび出^だした。
- 3930: テタルさんの助言^{じょげん}のお陰^{かげ}で、鵜飼部長^{うかいぶちよう}は無事^{ぶじ}帰^{かえ}って来^きた。
- 3931: 僕^{ぼく}のディーヴァは、愁^{うれ}いを帯^おびた顔^{かお}で、下界^{げかい}を見下^みろして^おいる。
- 3932: 社^{しゃ}長^{ちよう}がひったくりに遭^あって、八百万円^{はっぴゃくまんえん}盗^{ぬす}まれた。
- 3933: ヒュウヒュウ木枯らしの吹^こき荒^ふぶ夜更^{すさよふ}け、白鼻^{はくびしん}芯^かが駆^いけて行く。
- 3934: 純菜^{じゅんな}とは、キャベツとアンチョビのスパゲッティを食^たべて別^{わか}れた。
- 3935: 実家^{じっか}に帰省^{きせい}したついでに、奥羽山脈^{おううさんみやく}に赴^{おもむ}いた。
- 3936: クイリーヌスは、ローマ神話^{しんわ}の神^{かみ}だと、成人^{せいじん}して^しから知^しった。
- 3937: 薫^{かおる}さんは、テュルテュルの髪^{かみ}を指^めざし、枝毛^{えだげ}と戦^{たたか}っている。
- 3938: クアンジャンシジャンで食^たべ歩^{ある}きをする夢^{ゆめ}を、胸^{むね}に秘^ひめている。
- 3939: シェーンは何時^{いつ}も時間^{じかん}に正^{せい}確^{かく}で、綽名^{あだな}は歩^{ある}く時計^{とけい}だ。
- 3940: ジャスミンが見^みたのは、宇宙空間^{うちゅうくうかん}に漂^{ただよ}うファンタジックな夢^{ゆめ}ですか？
- 3941: 孫^{まご}の七五三^{しちごさん}のお祝^{いわ}いの料^{りょう}理^りについ^やて、悩^{なや}んでいる。
- 3942: その条^{じょう}件^{けん}下^かで、違^い法^{ほう}性^{せい}が阻^そ却^{きゃく}され^{かん}るとは、考^{かん}えられぬ。
- 3943: スープに混^まぜたモロヘイヤには、クエルセチンが多^{おお}く含^{ふく}まれる。
- 3944: 泌尿器科^{ひにょうきか}の看^{かん}板^{ばん}に、象^{ぞう}のイラ^えストが描^{えが}かれて^いる。
- 3945: 昔^{むかし}住^いんで^えいた家^{おく}の奥^{あみだ}に、阿弥陀如来^{あみだ}の木^{もく}像^{ぞう}があ^しった。
- 3946: まさか、あの組^そ織^{しき}のリー^しダーが、グェンドリンだなんて知^しらな^しかった。

3947: ウィッシュリストに載っている物から、贈答品を選ぶつもりだ。

3948: じゃんけん必勝法を教える機械を、発明した。

3949: 渡邊が作るずんだブラマンジェは、頬が落ちる美味しさだ。

3950: 風情ある景色を見ながら食べる、パンプディングは最高だ。

3951: この土地で乳牛を飼って、旨いチーズやバターを作る。

3952: パティシエはパイナップルを削り抜き、中に苺を詰め込んだ。

3953: 開演時間を早めるなんて、ミュラーから聞いていないぞ。

3954: サンテヨは、白いシャツに、ラナンキュラスの刺繍をしていた。

3955: ラズィーヤは、家政学部、被服学科の優等生なのだ。

3956: 侮辱された事も、逆転の発想で受け止めてみよう。

3957: 閑散としたパリの街を、トゥクトゥクで走り回った。

3958: ピエールの家の土蔵の扉は、固く閉ざされていた。

3959: ハオプトヴァッヒエに行く時も、蕎麦殻の枕を持って行く。

3960: 相性の良くない相手と居ると、具合が悪くなってくる。

3961: 小学校の時は、中尊寺を度々訪れた。

3962: 蓮が岩手でパラグアイの人に会うのは、これが初めてだ。

3963: お姉ちゃん、キエルツェ旅行の記憶が、もう薄れかけているの？

3964: ラッツォーリにプレゼントする化粧品を、買いに行くのだ。

3965: 徹夜で座禅を組むのは、エドモンドには流石に無理だった。

3966: チェイニーの按摩技術は、町中で大評判だった。

3967: バロネス・オルツィのファンが増えたら、薔田君は喜ぶかな？

- 3968: シャオラン兄貴が泉中央に居てくれて、丁度良かった。
- 3969: 公園で、ミエエンミエエンと、キジトラの子猫が鳴いていた。
- 3970: ヴォーカルとギターが離婚したのは、もう五年も前の事だ。
- 3971: ザナドゥの旦那が、最も好きな飲み物は、ミントティーなのか？
- 3972: 米国人留学生達は、ポニーテールが好きだった。
- 3973: 際どい話になってきたので、ユーリヤはそっと席を立った。
- 3974: デュルケムの表情が曇るのを、土橋は見逃さなかった。
- 3975: 修学旅行で会津に行き、白虎隊について学んだ。
- 3976: 行方不明になったチャイヴを、龍彦はずっと探している。
- 3977: 沼田君は、同類項の意味がどうしても理解できない。
- 3978: 庭には瓢箪を植えようと、二人の意見が合致した。
- 3979: 妙な夢を見るのではないかと、不安で怖くて寝られない。
- 3980: 卓也のお姉さんが、アクゥアルの使い手だとは、驚きだ。
- 3981: 挨拶に代えて、ヴィエリが描いた、デョデョの肖像画を贈る。
- 3982: イェソンとガブリエルは、裏庭を掃除して、落ち葉を燃やした。
- 3983: 由紀ちゃんと崇君は、蕃山にピクニックに出掛けた。
- 3984: フォークナーは、最寄りの交番に駆け込み、助けを求めた。
- 3985: サフィーネは、でやーと気合を入れて、鯨に鉈を突き立てる。
- 3986: ブロッコリーは、殺伐とした空気に嫌気が差していた。
- 3987: 業務停止の圧力が強まり、ドルフィンは困惑した。
- 3988: 路子から、樹氷の撮影に成功したと、報告があった。

- 3989: 桃^{ももいろ}色のペチコートが欲しいと、ステファニーにねだられている。
- 3990: マリンブルーの液^{えきたい}体だが、飲むと焙^{ほう}じ茶^{ちゃ}の味^{あじ}がして驚^{おどろ}く。
- 3991: 立^{りゅうれい}礼^{てまえ}のお点^{ようす}前の様子を、フェルト細工で再^{ざいく}現^{さいげん}した。
- 3992: 平^{へいじょうきょう}城^{さか}京^{じだい}が栄えていた時代に、タイムスリップしてみたい。
- 3993: カフェバーリエゾンのマスターの、帳簿^{ちょうぼつ}付けを手伝ったのだ。
- 3994: 鼠^{ねずみ}がぴよこんと顔^{かお}を出^だしたので、衛兵^{えいへい}は吃驚^{びっくり}した。
- 3995: ギェーという叫^{さけ}びに、思^{おも}わず王冠^{おうかん}を取り落^ととしてしまった。
- 3996: こころで代^{だいきゅう}休^とを取らせないと、リズィーが過^{かろう}労^{たお}で倒れてしまう。
- 3997: 樹理^{じゅり}は、クラウディアをギュッと抱^だき締^しめ、泣^なき叫^{さけ}んで許^{ゆる}しを請^こうた。
- 3998: ウォルフィとアンドレアスは、福^{ふくしま}島^{しょうにゅうどう}の鍾^{おとず}乳^と洞^とを訪^とれた。
- 3999: 不^{ふぐう}遇^{ぐう}のウラディーミルは、ニエツトと叫^{さけ}んで海^{うみ}辺^べへ駆^かけ出^だした。
- 4000: ヴィットリオは、何^{いつ}時^{きょうしつ}も教^ば室^らに、薔^{はな}薇^たの花^{はな}を絶^たやさなかった。